

# 兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

419号

2021年9月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部  
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第50回支部総会 記念講演—感想文—

## クラスター発生の教訓学ぶ

尼崎支部は7月31日、尼崎商工会議所で第50回支部総会を開催。記念講演では、尼崎医療生協病院内科の井上純一先生が「COVID-19 院内クラスター発生から終息までの経過と現在の診療の実際」をテーマに講演(前号既報)した。増田理恵先生の感想を紹介する。



院内クラスターの経験を語る井上純一先生



井上先生と参加者が在宅医療での今後の対応についてもディスカッションした

新型コロナウイルス(COVID-19)の流行の終息がまだまだ見通せない今の段階で、院内クラスター発生を果敢に乗り切られたドクターのご講演は大変貴重で、先生のご経験を追体験することができました。

まず昨年12月11日に38℃以上の発熱患者さんが4人部屋で発生し、次々と同じ階の病棟、そして上の階へと広がり、患者さん65名、職員56名ものクラスターが発生した経緯を述べられました。途中で11月30日に職員がすでにCOVID-19に感染していたことが判明したのですが、この情報が12月6日の時点でキャッチでき、入院患者さんにPCR検査をしていたらクラスターは発生しなかったかもという検証をしておられます。

入院中の高齢者の発熱はよくあることですが、それがコロナとしても、感染のものは患者さんだろうという思い込みがあり、職員が最初の持ち込み者になることを想定していなかったことを率直に話され、何よりも普段からの情報収集が大切であること、体調の悪い職員にPCR検査をし、休むようにと言える職場であるべきと強調されました。

(2面につづく)

## (1面のつづき)

入院患者さんに関しても、入院時のPCR検査だけでは不十分で、入院前の病歴や利用されていた施設での状況など詳細に問い合わせる必要があるとうかがいました。相当な時間と労力を注ぎ込まれていることに感銘を覚えます。先生の病院のコロナ病棟では毎朝、防護服の着脱訓練を行っておられ、日々のくり返しと継続した教育こそが感染を防ぐとの教訓は、我々開業医にもあてはまり、身の引き締まる思いがいたしました。

発熱外来を充実させておられる、はせがわ内科の長谷川吉昭先生との対談も興味深く、その中でコロナに感染したナースが離職されたことがつらかったと話されまして、冷静に一大危機に立ち向かわれる中で計り知れないご苦労があったと、頭が下がる思いです。

今回のご経験をふまえ、病棟を再編されてコロナの患者さんを受け入れ、日々リーダーシップを発揮されている先生に感謝と心からの敬意を表したいと思います。

【皮膚科美川医院 増田理恵】

## 「クボタショック」から16年

## 尼崎市内のアスベスト被害が深刻化

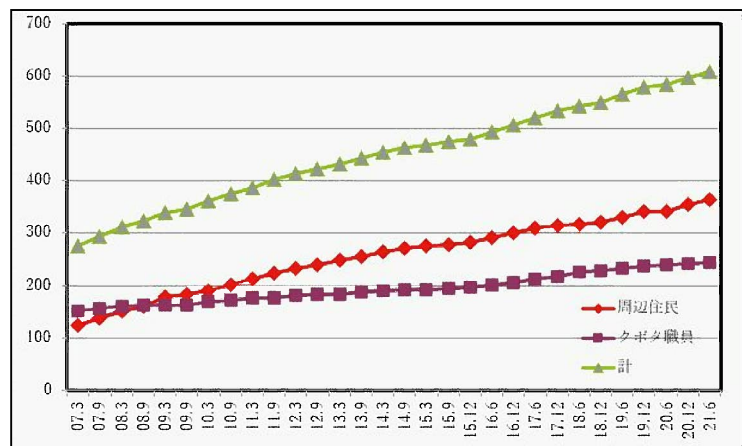
2005年に株式会社クボタ旧神崎工場で、工場従業員や周辺住民の大規模なアスベスト被害が明らかになった「クボタショック」から16年が経過したが、尼崎市内のアスベスト被害は深刻で、被害者は増加の一途をたどっている。

今年8月3日にクボタが明らかにした石綿被害への救済金の支払いは365人に及び、クボタ従業員に補償した244人とあわせ、被害者は609人と、600人を超えた。ただし、クボタは救済金支払いを、工場の半径1.5km以内に住居や通勤などの生活歴のある人と限定しており、実際の被害者はこれをさらに上回ると考えられる。

また現在も、尼崎市における中皮腫による死亡者数は全国平均の10倍以上となっており、アスベストの暴露を受けてから中皮腫や肺がんが発症するまで20年から50年を要することから、被害者は今後も増え続けることも想定される。

協会尼崎支部も参加する「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」は、①クボタは責任を認めて被害者全員に謝罪して補償すること、

②国は石綿救済法を抜本的に改善して認定基準の緩和や労災並みの補償をすること、③尼崎市は旧工場周辺に居住・通勤・通学していた住民へアスベストによる健康への影響を周知するなど、国とクボタの責任を問い、被害者の完全救済を求める運動を行っている。また被害者に寄り添った相談活動も行っているため、引き続き先生方のご理解とご協力をお願いしたい。



クボタ旧神崎工場でのアスベスト飛散被害者は判明分だけで600人超に

## 尼崎社会保障推進協議会 街頭宣伝

### 高齢者の窓口負担を増やさないで!

尼崎支部が加盟する尼崎社会保障推進協議会(会長・綿谷茂樹先生)は、8月21日に阪神尼崎駅前街頭宣伝を行った。75歳以上の窓口負担を2割にする法案が可決されたが、実施は早くても来年10月とされている。街頭宣伝では、コロナ禍でただでさえ高齢者の受診控えが進んでいる中、2割になれば、必要な医療が受けられなくなることを道行く市民に訴えた。短時間で多くの賛同署名が寄せられた。



市民と対話しながら署名協力を訴える社保協メンバー

### —全国いっせい宣伝 尼崎共同行動—

### 医療・介護・保健所の削減やめて!いのちまもる緊急行動



尼崎市の他に、神戸市、姫路市でも共同行動が行われた

中央社会保障推進協議会が呼びかける全国統一の署名宣伝行動が9月4日、阪神尼崎駅前で行われ、兵庫県保険医協会尼崎支部、尼崎医療生活協同組合、兵庫年金者組合尼崎支部などの団体から17人が参加した。

宣伝では、75歳の医療費2倍化に反対する署名と、PCR検査の徹底を図る要望署名を市民に訴えた。今後も定期的に市民へ社会保障充実を求める宣伝を行うことにしている。

## 尼崎社会保障推進協議会 2021年定期総会のご案内

- 日 程 : 11月6日(土)  
 場 所 : 尼崎市中小企業センター 504号室(阪神尼崎駅北側へ徒歩5分)  
 総会議事 : 13:30 ~  
 記念講演 : 14:40 ~ テーマ「子どもの貧困問題」  
 講 師 : 佛教大学教授・小児科医 武内 一 先生

兵庫県保険医協会尼崎支部

# 医療安全管理対策研修会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、急遽、開催を中止する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

日時	10月30日(土) 14時30時~16時30時
会場	尼崎商工会議所 7階 702会議室
講演	「新型コロナウイルス感染症を含めたこれからの外来感染予防対策」 ～ワクチン接種を済ませても安心できない理由とは?～
講師	小川 麻由美 氏 (済生会兵庫県病院・感染管理認定看護師)
参加費	1,000円 (受講された方には受講証を発行します)
定員	25人 ※(先着順)

2007年の医療法改定により、すべての医療機関に医療安全管理が義務化され、職員の研修を年2回程度実施することが求められています。

今回は、コロナ禍の下、外来で必要な感染対策・医療安全管理についてご要望の多い感染予防、PPE着脱実技も盛り込みながら、診療所にも対応した中身でお話いただきます。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞って開催しますので事前にお申込みください。会場に手指消毒液を用意、会場換気を致します。マスクをご持参の上、ご参加ください。

※お問い合わせは、TEL:078-393-1805

尼崎支部担当事務局・沖野・石本まで



〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通 3-96

電話 06-6411-2251 ※阪神尼崎駅北側徒歩3分  
お車の方は近隣の有料駐車場をご利用ください。

**FAX (078)393-1802**

(切り放さずにご返信ください)

尼崎支部 医療安全管理対策研修会 (10/30) 参加お申込み

参加者名	職種

医療機関名 ( ) 会員氏名 ( )

TEL ( ) FAX ( )